

ソニールックプロファイル

1. イントロダクション

“ソニールックプロファイル”とはカラーグレーディング開始点となるようにトーン、カーブを整えたルックデータの名称です。主にソニーのCineAltaカメラを用いたTV/CM制作ワークフロー向けに、使用されることを想定して作られています。Sony Look ProfilesはF65とF55で撮影することのできる広色域(S-Gamut)を最大限生かしたカラーマネジメントに対応しています。これらは3D LUTとして提供され、各カラーグレーディングツールに適用することが可能です。これらの3D LUTはS-Log2(ガンマ)/S-Gamut(色域)をベースに開発されています。F65RAW/F55RAW素材を扱う場合は、編集するツール側でRAWファイルのワークスペース(ガンマ/色域の設定)をS-Log2/S-Gamutにしてください。

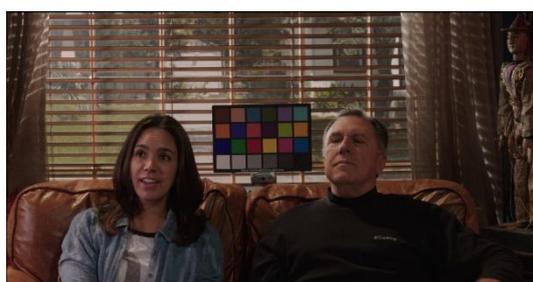
つまり、S-Log2/S-Gamutで撮影された素材全てにおいて本3D LUTを適用することが可能であり、SRファイル形式であるMPEG-4 SStP(Simple Studio Profile) やXAVC、MPEG2 HD422にも使用することができます。

今回提供するLook Profiles4種類のうち“1. LC-709”、“2. LC-709TypeA”、“3. S-Log2-709”は各ツールのインプットLUT、アウトプットLUT、どちらにも適用することが可能です。それぞれ実際にカラーグレーディングするワークスペースに合わせてご使用下さい。“4. Cine+709”はアウトプットLUTにのみ適用できます。インプットLUTで使用するとハイライトのラチチュードはクリップしてしまいますのでご注意ください。

適用前 (S-Log2/S-Gamut)



適用後 (Look Profile)



加えてF65 V3.0(アップグレードキットCBK-65ELによるアップグレード必要)とRAW Viewer V1.1には4種類のLook Profilesがインストールされています(F65 V3.0ではインプットLUTとしてインストールされています)。F65においては収録されたRAW Fileのメタデータに本Look Profileナンバーが記載されますので、RAW Viewerやグレーディングツールにて、本メタデータ情報を参照して撮影現場で使用していた色やトーンのセッティングを容易に再現することが可能です。

2. 各Look Profile の紹介

カラーグレーディングの各ワークフローに対応するために、4種類のLook Profileを提供します。

1. LC-709

1.LC-709は、色域をS-Gamutから709色域相当へ変換するとともに、トーンについてはハイライトおよび暗部を若干圧縮したローコントラストカーブを適用したものです。中間部の色再現については、特別な調整を必要とせず、圧縮部により保持された階調情報を引き出すだけでも、カメラ本来の持つ色再現性やラチチュードを十分に生かしたグレーディングが可能です。

2. LC-709TypeA

2. LC-709TypeA は、トーンは 1. LC-709 に類似しておりますが、暗部においては若干オフセットがついています。色再現性は、Sony HDW-F900 や ARRI ALEXA と同等です。

3. SLog2-709

色再現性については“1. LC-709”と同じですがトーンについてはS-Log2から変換していません。現状S-Log2/S-GamutやRAWの素材に対してLUTを使わずに、S-Log2を起点としてグレーディングを開始している方々にお勧めします。

4. Cine+709

4.Cine+709は、ある特定のネガフィルムとポジフィルムをシミュレーションし、トーンにはRec709を適用したものです。このLook Profileは上記の1～3と異なり、主にモニタリング用途として提供するものです。このLook Profileをベースにカラーグレーディングする場合は、グレーディングツールのアウトプットLUTとして使用する必要があります(インプットLUTに適用すると、ハイライト部分はクリップされ、グレーディング作業に使用できないため)。その場合はツール上でのワークスペースはS-Log2/S-Gamutで作業することになります。

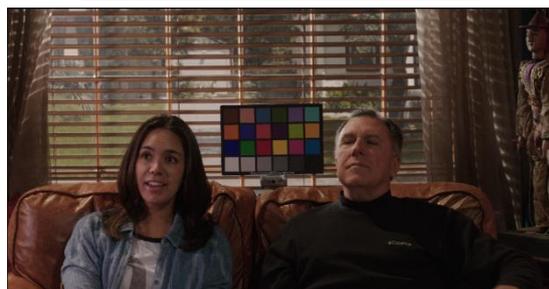
★:レベル	スキントーン コントラスト	カラー サチュレーション	色再現性	高輝度部分の 圧縮	暗部の 圧縮
Tone: S-Log2 Color: S-Gamut	★	★	S-Gamut	★	適用せず
1. LC-709	★★	★★	L709※	★★	★
2. LC-709TypeA	★★	★★	F900/ALEXA like	★★	★
3. SLog2-709	★	★★	L709★	★	適用せず
4. Cine-709	★★★★	★★★	Film Like	★	★
Tone: 709(800%) Color: REC709	★★★	★★★	REC709	★★★	適用せず

※L709: 709 色域よりもサチュレーションの低い色再現性です

S-Log2/S-Gamut (Original)



1. LC-709



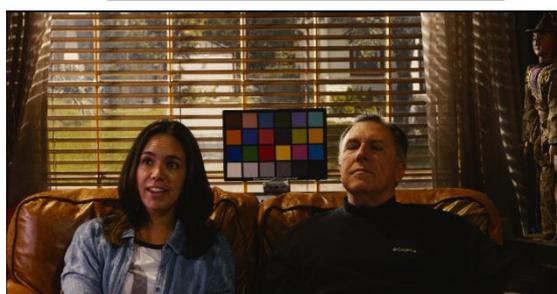
2. LC-709TypeA



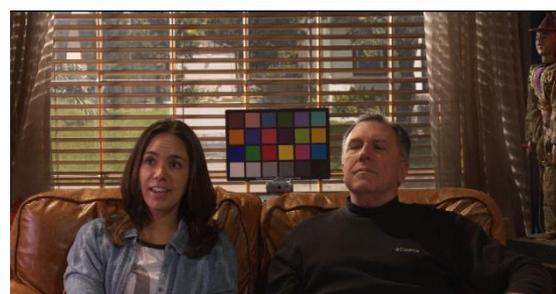
3. SLog2-709



4. Cine-709



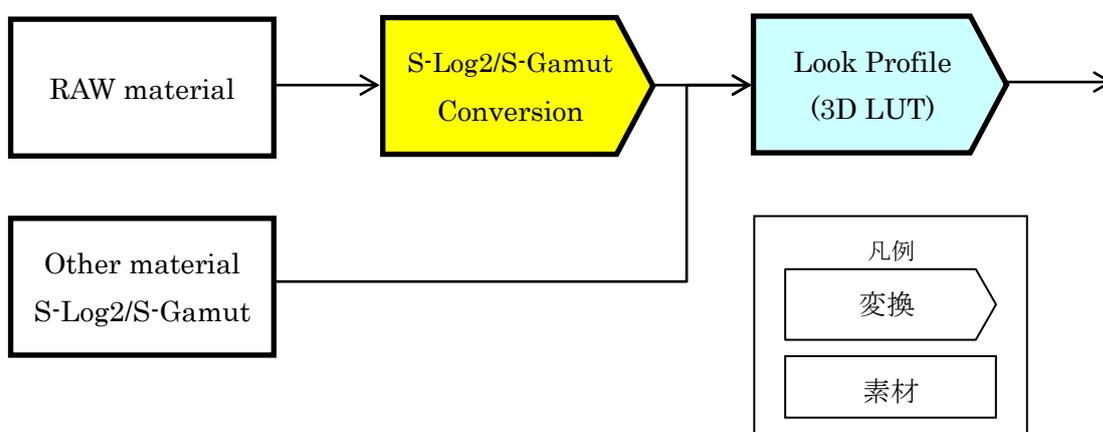
Tone: 709(800%), Color: 709



3. ルックプロファイルの適用方法

1. シグナルフロー

ルックプロファイルは前述のとおり、トーンが S-Log2、色域が S-Gamut であることが前提です。よって RAW 収録された素材を扱う場合はグレーディングツールまたは RAW Viewer などにおいて、S-Log2 /S-Gamut を選択する必要があります。また XAVC や SStP SR ファイルで収録する場合は、撮影時に必ず S-Log2 /S-Gamut で撮影してください。



2. グレーディング時のインプット LUT とアウトプット LUT

大半のグレーディングツールには素材を扱う場合に「インプット LUT」と「アウトプット LUT」があり、ルックプロファイルはこのどちらかに適用して使用します。どちらに適用するかによって結果は異なります。インプット LUT にルックプロファイルを適用すると「ビデオワークスペース」でグレーディングを作業することになりますし、アウトプット LUT に適用すると「Log ワークスペース」でグレーディングを行うことになります。

ルックプロファイルの 1～3 はローコントラスト・ローサチュレーションでセッティングされているため、どちらに適用しても作業することができます。インプット LUT に適用すれば、ビデオスペースでの作業に慣れているカラリストはスムーズに作業を行うことができます。また、ハイライト部分をよりシビアに作業する場合はアウトプット LUT (グレーディング時のワークスペースは Log) に適用することをお勧めします。

ルックプロファイルの 4 番はアウトプット LUT にだけ適用するように作成されています。

インプット LUT に適用してグレーディング (No.1,2,3)



アウトプット LUT に適用してグレーディング (No.1,2,3,4)



EOF